

横浜ロボットワールド 2022 & 横浜オープンイノベーション EXPO2022 に出展します



横浜市は、専門技術展「横浜ロボットワールド 2022」及び、同時開催の「横浜オープンイノベーション EXPO2022」に出展します。


新たな技術やアイデアを発信することで、新ビジネスの創出やオープンイノベーションの促進につなげるため、市内に拠点を置くスタートアップ等とともに、横浜パビリオンを出展します。また、「イノベーション都市・横浜」*に関連するセミナーを開催します。

注)「イノベーション都市・横浜」とは…

「ヨコハマ・クロスオーバー “YOXO”」のコンセプトのもと、みなとみらいの研究開発拠点、関内のスタートアップをはじめとした企業、大学等が連携して、街ぐるみで組織や領域を超えた、多様な人材の交流により、イノベーションを創出します。これにより、国内外から人・企業・投資を呼び込み、横浜経済の持続的な発展につなげます。

1 展示会の概要

(1) 横浜ロボットワールド 2022 (第3回サービスロボット展/第3回産業用ロボット展/第3回次世代モビリティ展)

会期	令和4年12月7日(水)・8日(木) 10:00~17:00
会場	パシフィコ横浜 展示ホールC
主催	横浜ロボットワールド実行委員会
後援	横浜市経済局、経済産業省、文部科学省、神奈川県、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、国立研究開発法人産業技術総合研究所(AIST)、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)
開催内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボットや次世代モビリティの開発・導入を促進する専門技術展 ・目的意識の高い来場者と出展企業との効率的なビジネスマッチングが実現 ・2021年来場者数：10,134名(2日間合計)  <p>-横浜ロボットワールド 2021の様子-</p>
参加方法	新型コロナウイルス感染症対策のため、招待券の持参、またはホームページからの来場登録が必要(無料) https://www.srobo.jp/index.html


(2) 横浜オープンイノベーション EXPO2022

会期	令和4年12月7日(水)・8日(木) 10:00~17:00
会場	パシフィコ横浜 展示ホールC
主催	オープンイノベーション EXPO 実行委員会
後援	横浜市経済局、オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会
開催内容等	異業種、異分野の交流によるオープンイノベーションの促進を目的とした展示会
参加方法	新型コロナウイルス感染症対策のため、招待券の持参、またはホームページからの来場登録が必要(無料) https://oi-expo.com/

※両展示会は新型コロナウイルス感染症対策を実施し開催されます。

裏面あり

2 横浜パビリオン出展企業詳細

企業名（五十音順）	出展内容	
12月7日（水）ブース出展		
<p>アイモビプロジェクト （日産自動車、NTT データ、Swap）</p>	<p>日産自動車・Swap・NTT データの3社による共創型プロジェクトで進めている乗り合いによる移動サービス「アイモビ」を紹介。</p>	 <p>ai-mobi ビジネスの移動で知り合う モビリティサービス アイモビ™</p>
<p>株式会社 R2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔操作ロボット：CoPlay Steam 教育向けロボット。Microbit, レゴベースで組み立てから競技場の開設、相手を招待し一緒に遊ぶことによりコミュニケーション力向上が期待できる遠隔操作ロボット。 ・遠隔操作 R2Car：Spider Car 自動運転車の遠隔操作のためのキット。Jetson nano ボードベース超低遅延リアルタイム映像送受信、遠隔操作が可能な R2Car。 	
<p>株式会社エフィシエント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・面接練習アプリ「steach」 自社で持っている IT 技術と株式会社ジェイックが持つ就職支援のナレッジを組み合わせ実現したスマホアプリ。面接の練習を手軽に誰でもすることが可能です。AI が客観的にフィードバックしてくれるので反復した練習が可能となります。 	 <p>たった5分で面接力UP! AIがあなたの面接を点数化 面接練習アプリ steach まずはアプリを無料ダウンロード 面接でこんなお悩みありませんか？</p>
<p>リスク計測テクノロジー株式会社</p>	<p>AI アシスタント PLEN Cube モチベーション管理版（以下、PLEN Cube という。）は、（1）顔識別機能で人物を判定し、（2）発話音声解析でストレス（モチベーション）を計測します。</p> <p>この PLEN Cube を職場に設置し、タイムスタンプ代わりに出勤時及び退勤時に使用することで、従業員のストレスを簡単に計測することが可能になります。</p>	

<p>アルケリス株式会社</p>	<p>アルケリス FX スティックは長時間の立ち仕事による足腰の負担を軽減するアシストスーツです。2022年8月に新タイプとして発売を開始した同製品は、従来製品よりも軽量化され、より動きやすく、自由度もアップしています。 工場での立ち仕事だけでなく、今後様々な分野の立ち仕事への活用を目指しています。</p>	 <p>世界から立ち仕事のつらさをなくす archelis FX スティック</p>
<p>シェフラー・ジャパン株式会社</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高精度減速機 RT シリーズ 小型/軽量/高精度な波動歯車装置 RT シリーズは協働ロボットや産業用ロボットに高い動作性能を与えます。出力側に実装されたアンギュラコンタクト針状ころ軸受は高剛性で低フリクションなロボットモーションを実現します。 PSC ギア PSC ギアの高いバックラッシュ性能(0.1arcmin 以下)はロボットの位置決め精度を向上させます。安定した稼働と長い寿命時間(20,000 時間)はトータルメンテナンス時間を削減します。大口径の中空構造によりロボットの関節構造に最適です。 	
<p>Narrative 合同会社</p>	<p>“Active Cinema Learning” 音声認識 AI 技術をベースに観客との対話を実現するインタラクティブ映像配信サービス</p> <p>最新の音声認識 AI によってユーザー発話の意図や結論を瞬時に把握し、リアルタイムに適正な映像シーンに切り替えることで、「ユーザーが映像ストーリーの当事者となってロールプレイングすること」が可能となります</p>	 <p>Active Cinema Learning とは？ 音声認識AIをベース ユーザー発話の意図や結論を瞬時に把握 視聴者とのリアル対話を実現 リアルタイムに映像シーン切り替え インタラクティブ映像配信サービス ストーリー-当事者のロールプレイング</p> <p>サービスの実施イメージ 視聴者発話の意図や結論を瞬時に把握し、リアルタイムに適正な映像シーンに切り替えることで、「ユーザーが映像ストーリーの当事者となってロールプレイングすること」が可能となります 【視聴者】参加している観客 運命共同体 となった観客を「映像の当事者」へ導く</p>
<p>株式会社 HealthCareGate</p>	<p>医薬品を飲み忘れてしまうことに起因する複数の課題を新しいテクノロジーを使った仕組みでリンクし解決する”DrugN”を展開する企業。 遠隔で働く薬剤師が多く、医師の働き方改革、薬局医療 DX・医薬品 DX 時代のコンサルティングや介入支援を行なっております。</p>	 <p>Web3.0 薬を飲んだという体験が、トークンとして保存される。 DrugN 毎日正しく飲むことで、価値を創り出すことができる。</p>

3 横浜市関連セミナー

展示会場内、横浜市ブースに隣接するセミナー会場において、「イノベーション都市・横浜」に関連する、以下のセミナーが開催されます。

登壇者（敬称略）	講演日時	実施内容
【登壇スタートアップ】 ・アルケリス株式会社 ・株式会社 R2 ・株式会社エフィシエント ・Narrative 合同会社 ・株式会社 HealthCareGate ・リスク計測テクノロジーズ株式会社	12月8日 (木) 12:00～ 13:00	横浜市のスタートアップ支援施策について紹介するほか、横浜に拠点を置くスタートアップ6社が登壇し、自社の製品やサービスに関するピッチを実施。
・横浜未来機構 事務局次長 おおはし なおゆき 大橋 直之 ・株式会社エヌ・ティ・ティ・データ C&M 事業部 のぐち ともゆき 野口 友幸	12月8日 (木) 13:30～ 14:30	横浜発、産学公民連携でイノベーションを推進する基盤団体「横浜未来機構」の活動内容、プロジェクトについて紹介します。またプロジェクトの一つである、「アイモビ」のメンバーによるパネルディスカッションを行います。
・CROSSBIE JAPAN 株式会社 CEO やまもと ちか 山本 知佳 ・The Drivery CEO ティモン・ルップ ・Greenbox Project Manager アヌーク・ハラール	12月8日 (木) 15:00～ 16:00	モビリティに特化したドイツ・ベルリンのイノベーション・コミュニティ「The Drivery」のCEOを迎え、グローバルに活躍できるスタートアップとはどのようなものか、その成長を支える自治体ができる支援とは何かについて、事例を紹介します。

お問合せ先

経済局 新産業創造課長 高木 秀昭 Tel 045-671-3913

※本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。